

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団 平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	障がい者歯科診療事業の一環としての障害者摂食機能療法の普及事業
2. 申請者名：	公益社団法人東京都足立区歯科医師会 代表者氏名 湊 耕一 担当者氏名 横田 祐司
3. 実施組織：	事業実施者：公益社団法人東京都足立区歯科医師会 協力団体：日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座
4. 事業の概要：	本事業は、足立区内の歯科医療従事者に対し、障害者の摂食機能療法に関する知識と技能を普及することを目的として行う。その結果として、障害者の摂食機能療法に関する知識と技能を有する歯科医療従事者が地域に増えることにより、障害者が身近な生活圏内で摂食機能療法を受けられることができるようになることを効果として期待している。
5. 事業の内容：	事業実施者である公益社団法人東京都足立区歯科医師会は、口腔保健センター（以下、当センター）を併設しており、専門医の協力の下、会員が障害児の歯科診療を行っている。近年、障害児の摂食機能療法に対するニーズが高まり、当センターにおいても摂食機能療法を行うに至った。しかしながら、当センターにおける対応数は限られており、多くの障害者が身近な生活圏内で摂食機能療法を受けられるようにするためには、区内に摂食機能療法に関する知識と技能を習得した歯科医療従事者を増やす必要がある。 そこで、協力団体である日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座の協力の下、以下の事業を行った。 ①障害者の摂食機能療法に関する研修会の開催 ②障害者の摂食機能療法の見学会の開催 ③障害者の摂食機能療法の実習
6. 実施後の評価（今後の課題）：	今年度は、公益財団法人 8020 推進財団の平成 28 年度歯科保健活動助成交付事業からの助成を得ることができ、当センターにおける新規事業を立ち上げることができた。しかしながら、今年度は、当初目標を 72 人としていたものの、システムの立ち上げに経費の大半を費やしてしまったため、診療体制を補強することが費用の問題もあってできず、22 人にしか対応することができなかった。来年度以降は、必要な体制を確保し、目標を達成したい。 今後の課題としては、システムのさらなる充実と、研修会の定期開催、専門書籍や視聴覚教材の導入等による教育環境の整備、並びに、スタッフ増員等による診療体制の強化があげられる。そして、今回立ち上げた事業を継続することにより、「多くの障害者が身近な生活圏内で摂食機能療法を受けられるようにする」という目標に向けて、摂食機能療法に関する知識と技能を習得した歯科医療従事者を増やすことである。